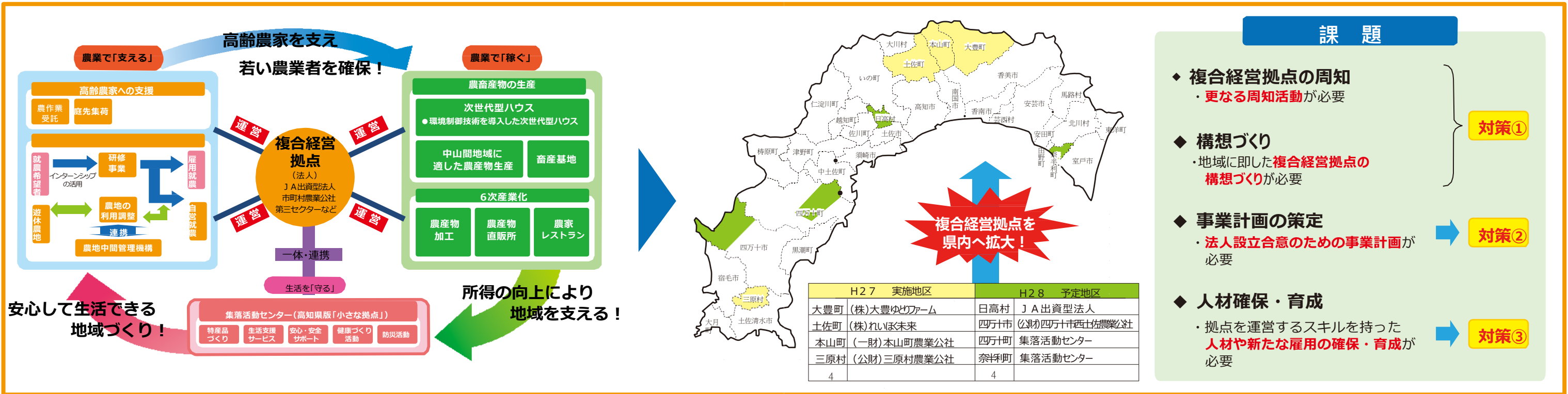
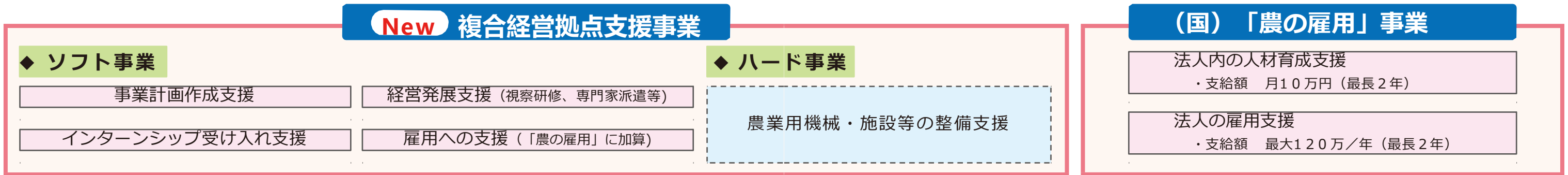
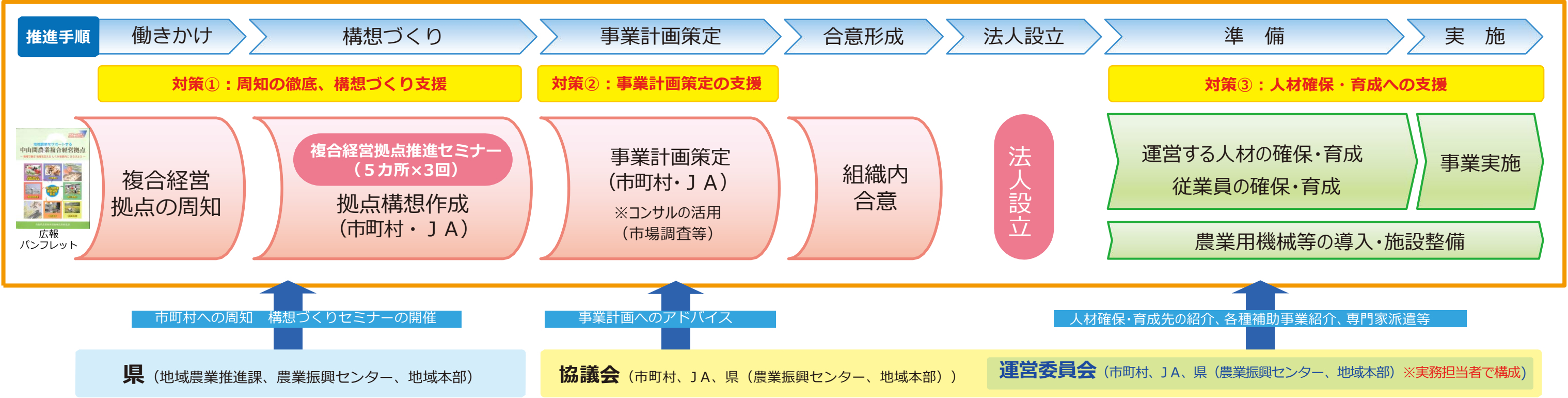


中山間農業複合経営拠点の整備推進

〈目標値〉 H27 →4年後→6年後→10年
 ●複合経営拠点整備地区数 4 20 30 35



- ### 課題
- ◆ 複合経営拠点の周知
 - ・更なる周知活動が必要
 - ◆ 構想づくり
 - ・地域に即した複合経営拠点の構想づくりが必要
 - ◆ 事業計画の策定
 - ・法人設立合意のための事業計画が必要
 - ◆ 人材確保・育成
 - ・拠点を運営するスキルを持った人材や新たな雇用の確保・育成が必要
- 対策①
対策②
対策③



複合経営拠点推進セミナーの取組状況

セミナーの内容

- 〈対象〉 28市町村（30チーム）※四万十市、四万十町は各2チーム
- 〈参加者〉 市町村、JA、県（農業振興センター、地域本部、地域農業推進課）等
- 〈運営〉 経営コンサルタントに業務委託

キックオフセミナー (6/2)

- ① 中山間農業複合経営拠点の説明
- ② 拠点構想づくりの進め方
- ③ 拠点実施地区の事例報告
- ④ 県・国の関連施策の紹介

構想づくりセミナー 《県内5会場×3回》

事前準備

- ① 取り組みエリアの設定
- ② 経営体の想定（既存又は仮想）
- ③ 現状把握（①と②の農業や組織の活動状況等）

ワークショップ 1回目 (6/22～6/30)

- ① SWOT分析
テーマ：取り組みエリアの農業→選定作物→稼ぐ→支える
- ② 「稼ぐ」「支える」事業とその規模の想定

専門家による事業規模・経営収支(案)の作成

ワークショップ 2回目 (7/19～7/29)

- ① 事業規模・経営収支の検討
- ② 複合経営拠点の構想(案)の作成
《地域の現状・課題(SWOT分析)、事業内容・規模、目指す姿、目標、体制》

専門家による構想(案)の評価・助言

ワークショップ 3回目 (8/22～8/31)

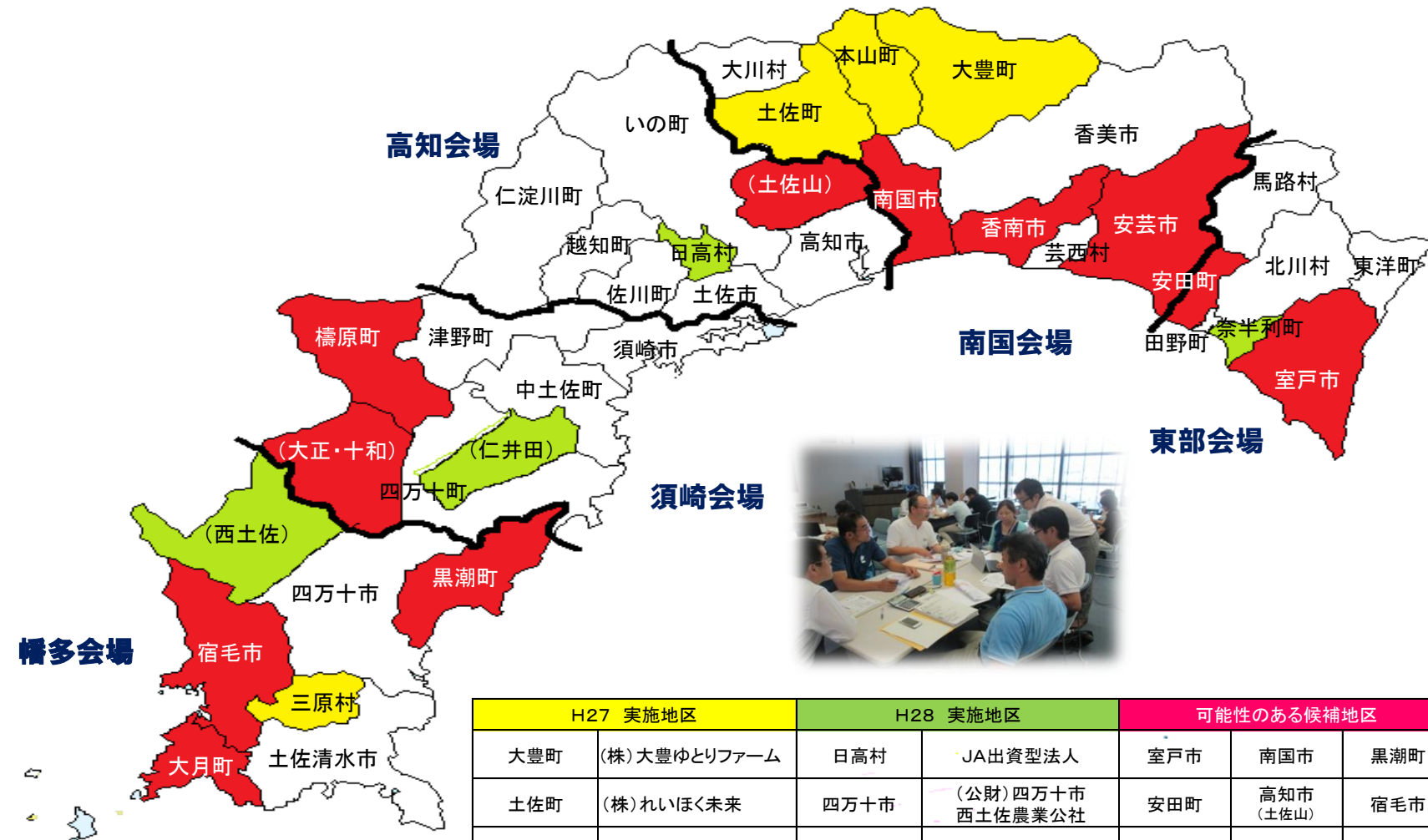
- ① 専門家アドバイスによる構想案の見直し
- ② 拠点構想(案)の発表

拠点構想(案)のブラッシュアップ

セミナーの効果

- ◆ 拠点構想づくりの手法として
 - ・ 関係機関が地域課題を共有し、地域に何が必要かの議論の場となった。
 - ・ 複数市町村が同じ場で構想案を作成することで、取組機運の醸成に繋がった。
⇒当初、あまり反応のなかった市町村がセミナーを通して取り組む意欲を示した。
- ◆ セミナー運営の外部委託について
 - ・ 専門家のノウハウを活用した構想づくりや運営ができた。
 - ・ 市町村等も、専門家のアドバイスを受ける機会・ワーク運営を学ぶ好機と捉えた。

中山間農業複合経営拠点の実施・候補予定の市町村



H27 実施地区		H28 実施地区		可能性のある候補地区		
大豊町	(株)大豊ゆとりファーム	日高村	JA出資型法人	室戸市	南国市	黒潮町
土佐町	(株)れいほく未来	四万十市	(公財)四万十市西土佐農業公社	安田町	高知市(土佐山)	宿毛市
本山町	(一財)本山町農業公社	四万十町	集落活動センター	安芸市	梶原町	大月町
三原村	(公財)三原村農業公社	奈半利町	集落活動センター	香南市	四万十町(大正・十和)	
4		4		11		